

## 学外研究発表記録 ——第45回——

2019年4月1日～2020年3月31日

五十畠 浩 平

著書「スタージュ フランス版「インターンシップ」：社会への浸透とインパクト」，日本経済評論社，2020

解説「ライフの視点からみた日本のワーク・ライフ・バランス」(<https://synodos.jp/economy/22893>)，シノドス，2019

田 澤 宗 裕

報告（共同）「四半期決算開示と経営者の業績予想」日本会計研究学会 第144回中部部会（名古屋市立大学）2019年12月14日

田 代 樹 彦

報告（共同）「四半期決算開示と経営者の業績予想」日本会計研究学会 第144回中部部会（名古屋市立大学）2019年12月14日

新 美 潤一郎

共著「RFMC分析におけるClumpiness指標の拡張と自社顧客の行動予測への応用 Clumpinessを活用した離脱時期と競合利用の予測手法の提案〔査読付〕」，行動計量学，日本行動計量学会，2020

柳 田 純 也

報告「千葉市立病院の財政分析」，「国際公会計学会中部部会」，中京大学，2019年12月7日

報告「B学院大学の鑑定意見書（案）について」，「大学の経営分析・財政分析」研究会，東京私立教連・東京高等教育研究所，2019年12月25日

大 西 幹 弘

論文「ブラザーリアのコア・ナレッジ—Max Hugel, 安井義博, そして創出の暗黙知一」，日本ナレッジ・マネジメント学会東海部会季報（電子版），日本ナレッジ・マネジメント学会東海部会，2019年7月

その他「第10回一橋大学中部アカデミア「アベノミクスを検証する—データで読み解く2012-2018—」総合プロデュース 司会 於ミッドランドホール」，一橋大学，2019年10月19日

高 山 晃 郎

報告「“Structure of Financial Market in East Africa Region: Case study of Kenya, Uganda, and Rwanda”」，The 2019 Cross Country Perspective in Finance (CCPF)

Symposium, Special Theme of *Journal of International Financial Markets, Institutions and Money*, in Mauritius, December 1

山 本 いづみ

講演「学部創設時の徳島経済と学部教育」（公開シンポジウム 総合政策学部創立 20 周年記念セッション），日本比較経営学会第 44 回全国大会，2019 年 5 月 11 日（土），徳島文理大学（徳島キャンパス）

萩 原 幸 司

論文「留学生教育に於いて求められる『コミュニケーション能力』向上のために」，『留学生教育』第 24 号，1-9，留学生教育学会，2019 年 12 月 20 日

論文「交換留学生に留学のベネフィットを実感させる授業実践—『交換留学生の満足度を高める』ために—」，『日本語教育方法研究会誌』Vol. 26 No. 2, 132-133, 日本語教育方法研究会，2020 年 3 月 14 日

報告「交換留学生に留学のベネフィットを実感させる授業実践—『交換留学生の満足度を高める』ために—」，第 54 回日本語教育方法研究会，日本語教育方法研究会，東京大学本郷キャンパス，2020 年 3 月 14 日

パネル発表（代表，司会）「OJAE で測る日本語コミュニケーション能力—対話・協働・自己啓発の道一」，『Book of Abstracts 要旨集』, 41-48, 第 23 回 AJE ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（セルビア，ベオグラード大学），2019 年 8 月 29 日

その他（日本語教師研修指導）「日本語教師の指導力向上」，「演劇的手法を取り入れた日本語での就労現場シミュレーション」，Japan Ready Functions Training School（ミャンマー，ヤンゴン），2019 年 9 月 9 日～14 日

張 海 燕

学会発表「歴史的資源保有地域における地域マネジメントのあり方を考える」，2019 年度中部都市学会研究会，中部都市学会，2019 年 7 月 27 日

論文「歴史的資源保存地域における観光マネジメントの課題—白川郷・石見銀山・有松を例として—」，『桜花学園大学学芸学部研究紀要』，桜花学園大学，2020 年 3 月

大 瀧 真 俊

報告「岡崎滋樹「戦時期海南島における台湾拓殖会社の畜産事業獲得過程」に対する評論」，第 17 回日本台湾学会関西部会研究大会，於京都光華女子大学，2019 年 12 月 21 日

川 森 智 彦

共同論文 “Bargaining delay under partial breakdowns and externalities” (co-authored

with Toshiji Miyakawa), *Economics Letters* 183, 108541, 2019

論文 “Bilateral bargaining with endogenous status quo,” *Economics Letters* 185, 108699, 2019

### 谷 村 光 浩

研究報告「多世界解釈からの類推より考えられる「量子都市ガバナンス」の記述—中国・珠江デルタの“変貌する村”の描き出され方をふまえて—」, 『国際開発学会・人間の安全保障学会 2019 共催大会』, 要旨データベース報告番号 124. 国際開発学会・人間の安全保障学会, 2019.11

### 名 和 洋 人

(研究会コメントーター) CPAS セミナー【講師】Dr. Peter A. Coclanis, Albert Ray Newsome Distinguished Professor, University of North Carolina, Chapel Hill【題目】“Factories in the Fields: The Americanness of Industrial Agriculture”に対するコメント, 2019 年 12 月 3 日, 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)。  
(会議録) 「CPAS セミナー (2019 年 12 月 3 日) 【講師】 Dr. Peter A. Coclanis, Albert Ray Newsome Distinguished Professor, University of North Carolina, Chapel Hill, 【題目】 “Factories in the Fields: The Americanness of Industrial Agriculture”」『アメリカ太平洋研究 (Pacific and American Studies)』東京大学大学院総合文化研究科 アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS) Vol. 20, 2020 年 3 月, pp. 190-191.

(学会報告) 「パネル・ディスカッション B 農業開発の戦後史—冷戦期, 国家主導の食糧増産プロジェクトの再検討—アメリカにおける窒素肥料の開発と普及—TVA と中小企業主導の投入資材コスト抑制—」, 2019 年度政治経済学・経済史学会冬季学術大会, 2020 年 1 月 11 日

### 野 口 光 宣

講演 「Stability of Purifiable Alpha Cores of Games with Incomplete Information」, 2019 Econometric Society Australasian Meeting (ESAM2019), Econometric Society, 2019 年 7 月 1 日

講演 「非完備情報ゲームの純粹化可能なアルファコア戦略の安定性について」, 2019 年度数理経済学研究集会, 数理経済学会, 2019 年 11 月 2 日

### 李 秀 澈

共編著 「Energy, Environmental and Economic Sustainability in East Asia: Policies and Institutional Reforms」, Routledge Publish, 2019 年 10 月

論文 「日本の 2050 年温室効果ガス 80% 削減に向けた炭素税・グリーン税制改革の経済

影響評価—E3ME マクロ計量経済モデルを用いた評価—」、財政と公共政策 65 卷、  
財政学研究会、2019 年 5 月

コラム「石炭火力・原発のフェーズアウトは日本の経済と環境にどのような影響をもたらすのか（前編・後編）」、京都大学大学院経済学研究科再エネ講座専用ウェブサイト、京都大学、2020 年 2 月 27 日・3 月 5 日

学会報告「Trade-off and synergies in policy incentives on mitigating CO2 emissions from the passenger cars in five major economies」、日本経済政策学会 2019 年度国際大会、中央大学、2019 年 11 月 16 日

学会報告「日本の原子力政策と原子力安全規制制度：原子力リスクから安全な社会に向けた政策課題」、環境経済政策学会 2019 年大会、福島大学、2019 年 9 月 26 日

学会報告「Modelling innovation to transition industry, transport and residential heating systems towards a sustainable, low carbon future in East Asia」、アジア環境資源経済学会 2019 年大会、北京大学、2019 年 8 月 2 日

学会報告「日本の原子力政策と原子力安全規制制度：原子力リスクから安全な社会に向けた政策課題」、韓国環境経済学会 2019 年大会、ハルラ大学、2019 年 6 月 27 日

講演「石炭火力・原発のフェーズアウトは日本の 経済と環境にどのような影響をもたらすのか—E3ME マクロ計量経済モデルを用いた分析—」、京都大学大学院経済学研究科再エネ講座セミナー、京都大学、2020 年 3 月 30 日

講演「アジアのエネルギー・環境問題と解決に向けた政策協力」、アジア共同体講座、中国文化大学（台湾）、2019 年 11 月 21 日

講演「日本の原子力政策と原子力安全規制制度：原子力リスクから安全な社会に向けて」、総合地球環境学研究所セミナー、総合地球環境学研究所、2019 年 10 月 11 日

講演「Energy policy for energy transition in Japan and Korea」、Seminar for Sustainable Development in North East Asia: Energy transition and Economic Effects、ベルリン自由大学、2019 年 9 月 10 日

## 太田 志乃

報告「中国のロボット産業動向（日中経済産業白書 2018/2019：第 13 期全人代第 2 回会議を終えて）」、「日中経協ジャーナル」No. 304、一般社団法人日中経済協会、2019 年 4 月

報告「タイの電動車奨励政策が同国の自動車産業に与える影響」、機械振興協会経済研究所、2019 年 7 月

共著「第 8 章 中国地方の自動車産業集積と地域金融機関」、佐伯靖雄編著『中国地方の自動車産業：人口減少社会におけるグローバル企業と地域経済の共生を図る』、晃洋書房、2019 年 8 月

講演「人口減少社会における自動車産業」、岩手県立大学総合政策学部産業講演会、岩手県立大学（アリーナキャンパス）、2019年8月5日

パネリスト「『100年に一度の変革期』を迎えた自動車・部品産業の現状と課題及びグローバル経営と人材育成」、第15回早稲田大学総合研究機構研究成果報告会、早稲田大学（小野記念講堂）、2019年10月4日

共著「第2章 EV化が自動車産業へ及ぼす変化とは：ものづくりの変化から考える」、中嶋聖雄・小林英夫・小枝至・西村英俊・高橋武秀編著『『100年に一度の変革期』を迎えた自動車・部品産業の現状と課題』、柘植書房新社、2019年10月

講演「自動車部品産業の開発戦略の方向性：デンソー株式会社を例に」、早稲田大学自動車部品産業研究所、2019年10月9日

講演「自動車を巡る環境変化：課題と対応の方向性」、一般財団法人日本ダイカスト協会関東中小企業部会、機械振興会館、2019年10月25日

報告「中国地方の自動車産業集積と地域金融機関」、産業学会中部部会、立命館（大阪いばらきキャンパス）、2019年10月19日

報告書「第4章 産学官金連携による地場部品企業の育成および地域活性化」、『人口減少社会における自動車産業』、機械振興協会経済研究所、2020年3月

渡 井 康 弘

論文「現代技術とマルクス経済学」、『三田学会雑誌』第112巻1号、慶應義塾経済学会、2019年4月

山 本 雄 吾

その他（翻訳）「オリヴァー・シュヴェーデス編、三上宏美監訳『交通政策 ドイツにおける新しい潮流』分担：第9章 モビリティの社会化、第14章 余暇における交通行動と余暇交通、ミネルヴァ書房、2019年10月

書評「福田晴仁『鉄道貨物輸送とモーダルシフト』」、『公益事業研究』第72巻、第2号、公益事業学会、2020年3月